

新しい建設業造りへの挑戦！

「魅力とやりがいにあふれる業界に向け」 栃木県建設業協会 青年経営者連合会

■ 「青経連」 通常総会開催



挨拶する小林青経連会長



祝辞を述べる谷黒協会長



熱心に討議する会員



6月16日、栃木県建設業協会青年経営者連合会の通常総会が栃木県建設産業会館で行われた。新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、昨年に引き続き少人数での開催となった。総会の冒頭、主催者を代表して小林青経連会長から「昨年度はコロナ禍の中、感染防止対策を万全にしながら、「県土木事務所次長との意見交換会」などを実施した。今年度も厳しい状況は続くと思うが、担い手の確保、現場の生産性向上といった諸課題の解決に向け、会員一同が一致団結して活動を行っていききたい」と挨拶。続いて、来賓の谷黒協会長から「芳賀町で発生した鳥インフルエンザ、那須塩原市で発生した豚熱に関し感謝の意が述べられた。また、今後の建設業界の発展のため、建設業が持つ社会的な役割を継続すべく、若い人にとって魅力とやりがいがあふれる「新しい建設業」の構築に向けて、青年経営者に対して柔軟な発想によるチャレンジ」を促した。

続けて議事に入り、初めに「令和2年度の事業報告」として、「北関東三県の建設業協会青年経営者による意見交換会」を当県が当番県として開催したことや、「とちけん小町の活動」、「関東建設青年会議」、「全国建設青年会議」の活動に関し菊池幹事長から説明があった。また、社会貢献活動推進委員会、総務企画委員会、建設産業再生推進委員会の各委員長から、「総合学習支援活動」、「自動販売機による募金活動」、「献血活動」、「県土木事務所次長との意見交換会」など、委員会活動に関する報告があった。その後、船山会計幹事から令和2年度収支決算書の説明と小林監事から監査報告があった。

次に、「令和3年度の事業計画(案)」として、菊池幹事長から、建設業のイメージアップに向けた「献血活動」や「自動販売機による募金活動」といった社会貢献活動や「総合学習支援活動」、「とちけん小町の活動」など、担い手の確保と育成に向けた活動を継続していくことを説明。併せて、建設業の発展に向け、「県土木事務所次長との意見交換会」、「県技術管理課との意見交換会」も継続していくことを説明。その後、山田会計幹事から令和3年度の収支予算(案)について説明があった。いずれの議案も出席者の満場一致により承認がされた。